

企業名： ネットワンシステムズ

---

レポート名： annual report 2021

---

### 1. この会社が目指す姿が理解できるか

この会社はアニュアルレポートにまずネットワーク技術で情報を“つなぎ”、その情報で関係を“結び”、新たな価値が生まれることで社会を“かえる”ということをこの会社の目指す姿として記載している。その背景として、現在本格的なクラウドインフラ利活用の時代を迎えていることを挙げ、お客様のニーズに応じていく趣旨の文面が書かれている。その変革内容として具体的に仮想化技術等の例を挙げており、どうお客様と実際に向き合っていくかが詳しく書かれているため、内容は十分であると思われる。

### 2. この会社の競争優位性が理解できるか

この会社はクラウドインフラ利活用の時代が進む中で高度化するお客様のニーズに応じていくことに会社の価値を見出している。海外のトップベンダーとの協力体制の中で築いた最先端技術はこの会社の強みであり、社会に提供している価値であるといえる。すなわち、このアニュアルレポートからこの会社の競争優位性を読み取ることができる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

技術の発展と共にお客様のニーズはさらに高度化することが考えられる。その高度化したニーズに応えるためにはさらに高付加価値なサービスを会社側は提供していく必要があり、それは技術が進歩していく限り、尽きることはないたえ、この会社はさらに事業を拡大していく。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

他では使わないような最先端技術の知識を存分に活かすことができ、さらにお客様のニーズに応じていく過程でさらにその能力を伸ばしていくことができるため、価値向上につながると思う。さらにこの会社ではさまざまな研修や教育制度といった人材育成プログラムが充実しており、それを通して、さらにスキルアップが見込めそうである。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

全体的に目指すべき姿、どのようにしてそれを目指していくか等が具体的に書かれてあり、内容として十分であったといえる。さらに今のコロナ禍の時代に合わせて、テレワークの充実に関しても触れられていたことがよかった。ただし、今の時代に関しては、ジェンダーに関しての内容、例えば男性の育休といったことを内容に具体的に含めらていればより良い内容になったと思う。

